



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「ぬぐだまる」＝「あたたまる」

【用例】ねごがひなたでぬぐだまる



愛すべき銚子弁。
知らない言葉は、
家族や近所のおじさ
んおばさんに発音を
教えてもらいましょ
う。いつの間にかあ
なたも便利な銚子弁
のとりこになるはず。

「が^んが^ん」＝「缶」

【用例】が^んが^んもってきたあど〜

このほかに

「お^おが^んが^ん」＝「たくさん、むちゃくちゃに」

【用例】きのう、お^おが^んが^んだったーよ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「わーか」=「ちょっと、少し」

〔用例〕めえ(前)髪ばどんけえ切ったあ？ わーかていいや！



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ちゃん」=「父親、おやじ」

〔用例〕よー、わんらーのちゃんいっかがあ？

縁側でスイガくってるわあ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ちょおどいいや」=

「失敗した時の自嘲のことば。あちゃー」

[用例] かぁ〜、ちょおどいいや!洗っただのに雨ふってきだどえ



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「あおなじみ」=「内出血して青色になること。あざ」

[用例] うでばぶっつげで、あおなじみこさえちゃったー

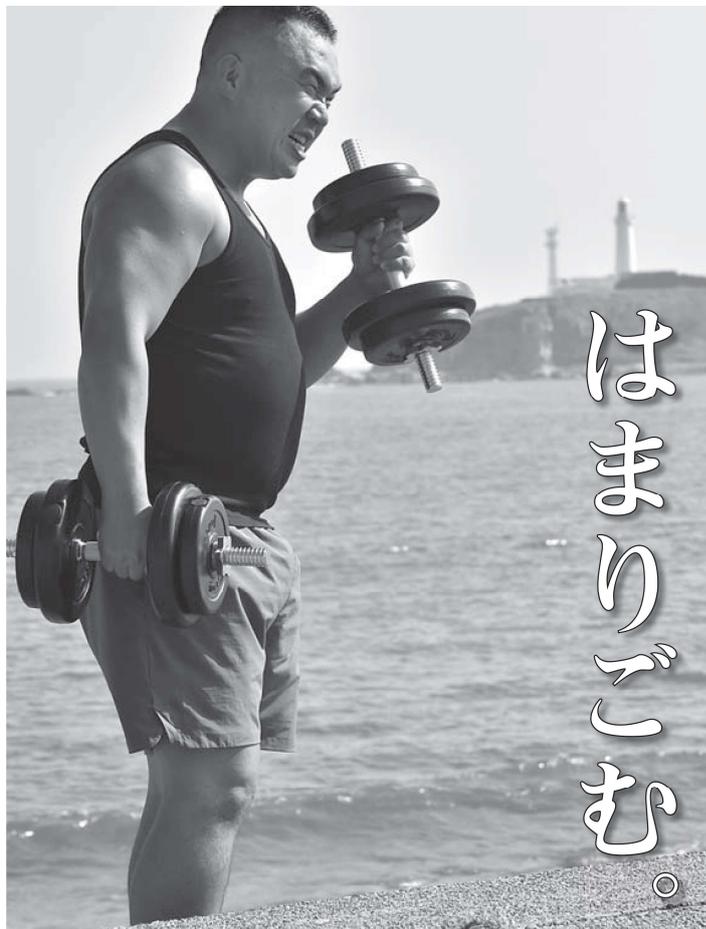


使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「はまりごむ」=「張り切る」

〔用例〕はまりごんで身体きたえでるわ

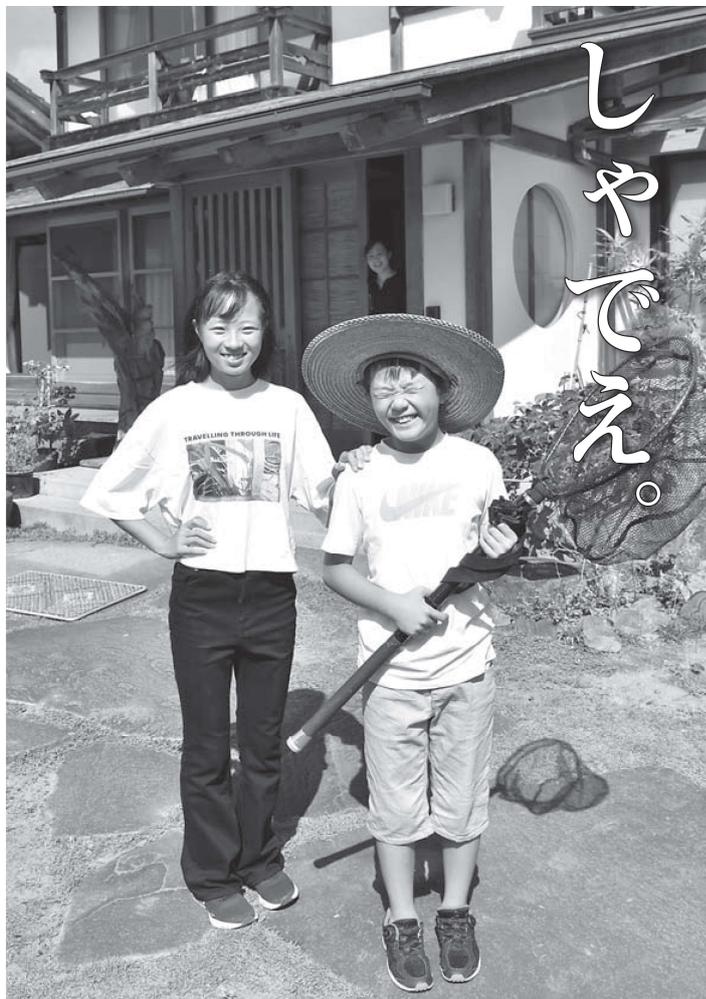


使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「しゃでえ」=「弟。子分」

〔用例〕オライのしゃでえは虫取んのがうめーどえ。



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「ふったがる」=「もえさがる・興奮する」

〔用例〕勝つまでやめねーがんなっ!

あに、ふったがってっだよ



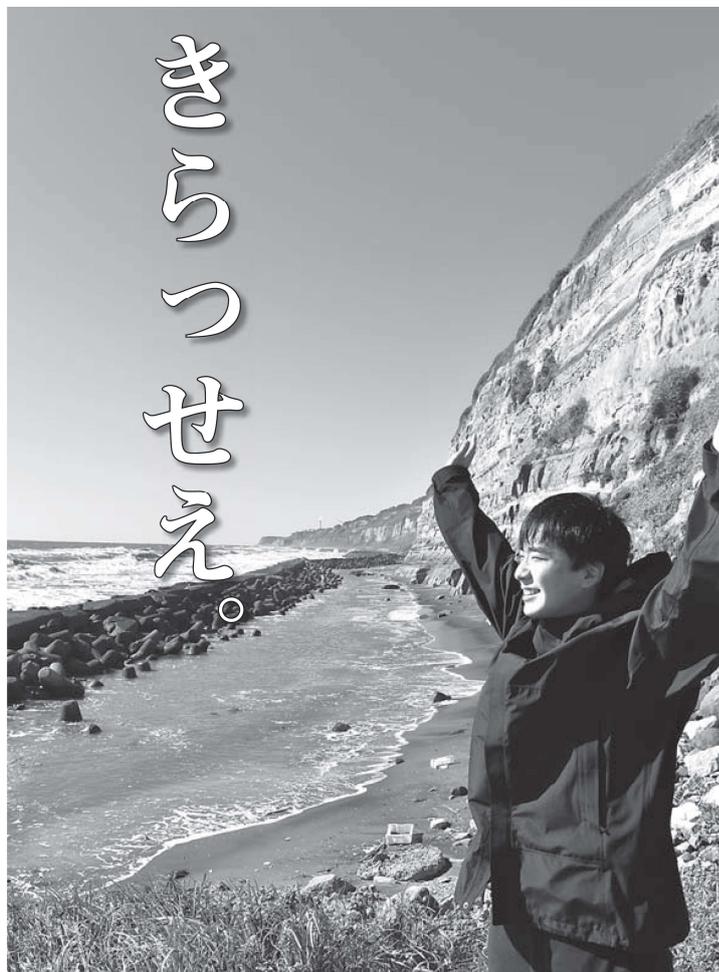
使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「きらっせえ」=「おいでなさい」

〔使用例〕銚子はいいとこだーべえ

まだきらっせえよ!



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「〇〇ぐし」=「〇〇ごと」

【使用例】イワシはあだまぐしくわっせーよ。

(イワシは頭ごと食べなさいよ)



使ってみよう
銚子弁

愛すべき銚子弁。
 知らない言葉は、
 家族や近所のおじさ
 んおばさんに発音を
 教えてもらいましょ
 う。いつの間にかあ
 なたも便利な銚子弁
 のとりこになるはず。

「のめる」=「埋める」

【使用例】穴コぼのめどいでくれ

(穴を埋めておいてくれ)

